

教育の産学連携 一序にかえて一

取組代表者 沖 幸男

近畿大学大学院総合理工学研究科では、平成16年 新しい概念の大学院「東大阪モノづくり専攻」(修士課程)を開設した。学生-教員-企業技術者が三位一体となった“教育の産学連携”によって、モノづくり技術を修得し、革新的技術を開発することのできる、実社会と乖離しない技術者を育成する教育プログラムを構築してきた。

モノづくり人材育成の
循環システム

高度モノづくり人材の
継続的輩出

モノづくり技術者の
教育への参画

文部科学省
大学院教育改革支援プログラム(大学院GP)
東大阪モノづくりイノベーションプログラム
平成20-22年度

文部科学省
ものづくり技術者育成支援事業
東大阪モノづくり技術者育成PJ
平成19-21年度

博士後期課程 開設
平成20年度

課程科目・セカンドメジャー科目の充実
マネジメントオフィス機能の強化・自立化
プログラムマネージャーの育成

文部科学省
私立大学教育研究高度化
推進事業
社会連携研究推進事業
平成16-20年度

学部における
教育の産学連携

東大阪モノづくり専攻
<修士課程>
創設・試行
平成16年度

成果と課題の総括
修了生・在学生のヒアリング
拠点企業のヒアリング
過去4年間の総括
修士課程充実の方向性
博士後期課程開設の必然性

さらに、この手法を学部教育にも適用すると同時に、平成20年には博士後期課程を開設し、学部から大学院博士後期課程まで一貫した理念のモノづくり人材育成プログラムを提供している。

学部における“教育の産学連携”の取り組み「東大阪モノづくり技術者育成プロジェクト」は、平成19年度文部科学省ものづくり技術者育成支援事業に採択され、高い評価を得ている。この間、東大阪モノづくり専攻(修士課程)の成果と課題、社会の要請を総括し、修士課程充実の方向性と博士後期課程開設の必然性が明らかになった。博士後期課程開設にあたり教育目標を明確にし、大学院教育実質化のための教育プログラムを開発した。本報告書は平成20年度文部科学省大学院教育改革支援プログラムに採択された「東大阪モノづくりイノベーションプログラム」の成果をまとめたものである。本プログラムが近畿大学における“教育の産学連携”のモデルとなるとともに、モノづくり人材育成の循環システムが機能していくことを願っている。